

部内討議資料



【日本維新の会の歴史】
 地域政党・大阪維新の会を結成 (2010年)
 国政政党・日本維新の会を結成 (12年)
 結いの党が合流し、維新の党を結成 (14年)
 分裂し、おおさか維新の会に (15年)
 日本維新の会に変更 (16年)

ここに
 維新はしがらみがない。本物の「脱原発」を訴え、計画的な廃炉を目指す。福島事故を教訓にせず、原子力を「ベースロード電源」と言う。与党はおかしい。原発推進の連合から支援を受ける民進も駄目だ。
 「自民の別動隊」と見る人もいる
 自民には是々非々で対峙する。統合型リゾート施設(I)もいる
 小池新党や減税日本との連携は
 自民の強さを一番知る小池さんが、本当に自民とたもとを分かってるか。小池さんの
 野党共闘には
 民進や共産などの共闘候補との戦いは覚悟する。政策信念を突き詰めないと信頼されない。
 充電中。いずれ政界復帰するだろうが、維新も力をついた。

県政権見
 2017新春インタビュー

トランプ米大統領が誕生する
 既成の政治は政策を語れても、具体策を打てない。日々の生活でつらい思いをしている人々が声を上げた。トランプの功利主義者ぶりには橋下徹前代表が思い浮かぶ。言葉が荒っぽいので誤解されるが大阪市長・府知事として、私立高校の授業料無料化や中学

⑥ 杉本和巳・維新県支部代表代行

身を切る改革争点に

校給食を完全実施した。
 総選挙は近いとみるか
 解散の大義が見えない。消費税を引き上げる「二〇一九年十月」の一年前、来年秋ごろが解散の本命では。ただ選挙は常在戦場。
 抑え、五百億円近い財源を生み、教育や福祉を充実させた。
 アベノミクスの評価は
 金融緩和は、重病の日本経済へのカンフル注射。その延命措置中に財政出動しようとしても、社会保障費は膨らむし、防衛予算も高止まり。思い切った予算編成と規制改革が必要。成長戦略は結果が出ない。
 自民や民進との違いはど
 R)整備推進法などは同じ方向になったが、公務員給与の引き上げは反対した。憲法九条の改正は現実的でないし、権力を暴走させてはいけないとの意識はある。
 憲法改正には賛成
 教育無償化や道州制、首都機能分散のような機構改革は盛り込みたい。時の政権の解りたくなく、独立した判断をできる憲法裁判所の設置も。
 橋下抜きで戦えるか
 「都民ファースト」、河村さんの「庶民革命」、維新の「納税者のための政治」は近い。連携すれば大きなうねりになり得る。
 県政の課題
 航空宇宙、人工知能(AI)、自動運転のような新技術を担う企業が県内に集まっている。伸ばすことが大切。民間に自由に発想してもらいたい。「小さな政府」をつくりたいし、規制緩和を進めたい。

【ご参考 2016/12/21 記事】

■維新、1人18万円寄付
 日本維新の会の馬場伸幸幹事長は20日、来年1月から党所属国会議員27人の歳費(給与)から毎月18万円を徴収し、東日本大震災の被災自治体に順次寄付

すると発表した。年間で5800万円超になる見通し。大震災後、国会議員は特例法で歳費を削減し、復興財源に回していたが2014年に終了。「いまは国民だけが負担している。我々がそれに甘んじることができない」と判断した(馬場氏)という。